

施策の進捗・効果検証シート

進捗評価

「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。
 A:すべての施策内容を実施することができている。
 B:概ね施策内容を実施することができているが、実施できていない施策がある。
 C:施策内容を実施することができているものもあるが、実施できていない施策も多い。
 D:施策内容のほとんどが実施できていない。

基本方針1 受け継がれてきたみどりの保全や育成
 基本施策1 まとまりのあるみどりの保全や育成

1. 公園・緑地のみどりの保全や育成															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点		
														指標	単位
A 施策内容	・千里中央公園やふれあい緑地など、公園・緑地のみどりを良好な状態に保つため、枯損木の撤去や枯れ枝の除去、剪定、草刈りなどの適正な維持管理を行うとともに、千里緑地や鳥熊山緑地の千里丘陵などの雑木林や竹林の健全な育成を推進するため、市民との協働により、森林病害虫の防除や竹間伐などの適正な維持管理を行います。 ・周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対する愛着の形成などに配慮して、公園・緑地の整備や樹木などの植栽を行います。 ・公園・緑地のみどりの充実を図るため、利用状況なども踏まえて、市民との協働などにより、裸地部分の樹木の植栽や草花緑化に努めます。	継続	公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係)	Bモニター指標	公園・緑地の開設箇所数(含脱部緑地・猪名川公園)	箇所	(累計)	477	478	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	公園・緑地の開設箇所数と面積が増加しており、また、公園・緑地の剪定や除草などの適正な維持管理を行っていることから、施策を実施できていると評価します。 今後、公園・緑地の面積などの指標は、既成市街地となっている本市では大幅な増加が見込めないものの、危険木の撤去後の裸地部分の樹木の植栽や草花緑化などみどりの更新にも努める必要があります。	
					公園・緑地の開設面積(含脱部緑地・猪名川公園)	m ²	(累計)	2,837,220	2,837,260	↑					
					公園・緑地の整備箇所数	箇所	(単年)	1	4	↑					
					公園・緑地の整備面積	m ²	(単年)	113	580	↑					
				C担当課による検証	公園みどり推進課(維持管理係)	開発許可制度により4箇所の公園の整備を行いました。また、既存の公園・緑地については、日常の除草や剪定などを適切に実施するとともに、樹木点検を行い、危険木の伐採等を行いました。	適正な維持管理のための危険木の伐採等により裸地になった場所へも計画的に植栽する必要があります。								
2. 歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成	A 施策内容	・国指定史跡桜塚古墳群、市指定史跡原田城跡、府指定建造物の旧新田小学校校舎などの文化財の敷地のみどりについて、みどりの量の確保を意識しながら剪定などの適正な維持管理を推進します。 ・街道沿いのポケットパークなどにおいて、歴史や文化を伝えるみどりや石碑などを保全するとともに、緑陰を形成する樹木や草花による緑化に努めます。 ・地域の財産として社寺林などの樹林・樹木を保全するため、所有者の申し出などにより、保護樹や保護樹林、景観重要樹木への指定を推進します。	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、維持管理係、整備改良係)、社会教育課、都市計画課	Bモニター指標	保護樹指定件数	件	(累計)	77	76	↓	台風等の災害に伴う倒木や予防伐採を理由とする解除が増加。(解除8件のうち7件)	D 公園みどり推進課による検証	B	指定文化財の敷地面積などの指標は、対象物件に限られるため、現状維持となっているものの、保護樹指定本数は新規で6本あり、台風の影響による解除の7本を除くと増加しており、概ね施策を実施できていると評価します。 文化財や街道沿いの石碑などは、ランドマークとなっていることが多く、引続き景観に配慮した植栽管理を実施する必要があります。また、保護樹については指定の拡大に向けた周知等を行うとともに、災害の被害を軽減する剪定など研究する必要があります。
保護樹指定本数						本	(累計)	140	138	↓	台風等の災害に伴う倒木や予防伐採を理由とする解除が増加。(解除8件のうち7本)				
保護樹林指定面積						m ²	(累計)	53,840	53,840	—					
指定文化財の敷地面積						m ²	(累計)	37,121	37,121	—					
景観重要樹木指定件数					件	(累計)	0	0	—						
C担当課による検証	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	文化財の敷地や街道沿のみどりについて、景観や緑陰を形成する剪定や刈込などの適正な維持管理を行いました。	文化財の敷地や街道沿いの木は、植栽の根上りや落葉などに配慮した維持管理の必要があります。また、台風による倒木や予防的な伐採で、保護樹は指定解除により減少傾向にあります。												
3. 風致保安林の保全や育成(森林整備計画に基づく森林の保全や育成)	A 施策内容	・春日神社裏山にある風致保安林を計画的に保全するため、「豊中市森林整備計画」に基づき、森林病害虫の防除などの維持管理を推進します。 ・風致保安林内にある「宮山つつじ園」などのコハ/ミツバツツジが多くの花をつける明るい林とするため、市民との協働により、剪定や枝打ちなどの適正な維持管理を推進します。	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所)	Bモニター指標	風致保安林指定面積	ha	(累計)	2	2	—		D 公園みどり推進課による検証	B	風致保安林指定面積などの指標は、対象となる森林などが限られるため、現状維持となっているものの、市民との協働により、台風による倒木処理など風致保安林の保全と植林の検討に取り組んでいることから、概ね施策を実施できていると評価します。 台風により被害を受けた風致保安林の再整備について、引続き森林所有者と協働を進めていく必要があります。
森林整備計画対象森林面積						ha	(累計)	2	2	—					
宮山つつじ園育成管理面積						m ²	(累計)	2,600	2,600	—					
C担当課による検証					公園みどり推進課(緑化自然環境係)	平成29年度に発生した台風21号により被害を受けた風致保安林の再生備について、検討を行いました。	風致保安林の保全や災害対策など、森林所有者と協働を進めていく必要があり、平成31年度からの森林環境課と税の活用について、検討の必要があります。								
4. 民有地の樹林・樹木の保全に対する支援					A 施策内容	・住宅地などの貴重な樹林・樹木を保全するため、「保護樹等助成金交付制度」による支援を行うとともに、同制度の積極的な普及啓発に努めます。 ・森林病害虫のまん延防止を図るため、「松くい虫防除事業助成金交付制度」などにより、樹林・樹木の健全な保全と育成を推進するとともに、同制度の積極的な普及啓発に努めます。	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	Bモニター指標	保護樹指定件数	件	(累計)			
保護樹指定本数	本	(累計)	140	138						↓	台風等の災害に伴う倒木や予防伐採を理由とする解除が増加。(解除8本のうち7本)				
松くい虫防除事業助成件数	件	(単年)	1	1						—					
松くい虫防除事業助成本数	本	(単年)	6	2						↓					
保護樹林指定面積	m ²	(累計)	53,840	53,840					—						
C担当課による検証	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	保護樹等の新規指定(6本)、指定解除(8本)を行いました。また、指定されている保護樹等に対して、助成金の交付を行いました。	助成金が樹木保存や森林病害虫被害の蔓延防止の一助となつてはいるものの、樹木の維持管理や災害対策等、樹木保存に対する所有者の負担は大きいです。												

基本施策3 連続性や水面のあるみどりの保全や育成

8. 街路樹の保全や育成																								
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点											
														指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項				
A 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑陰やみどりの軸の形成のため、みどりが豊かな街路樹の保全や育成を推進します。また、樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行い、まちなみと調和した街路樹景観の形成を推進します。 ・植栽整備から一定の年数が経過した老木が増加していることから、定期的な点検を行うとともに、枯損木の撤去や枯れ枝を除去し、必要に応じて樹木の更新を行います。 ・周辺環境や生育環境、景観、ライフサイクルコスト、生物多様性、みどりに対する愛着の形成などに配慮して、街路樹の整備や樹木などの植栽を行います。 ・「回廊地区」の道路などを中心に、道路幅員や周辺環境なども踏まえて、遊休地などの街路樹整備やフラワーポットなどの設置が可能な箇所における緑化に努めます。 ・地域住民が緑道などの維持管理に参加する「自主管理協定制度」などにより、良好な緑道空間を形成するとともに、地元の自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「豊中市アダプトシステム」や「大阪府アドプト・ロードプログラム」により、街路樹のある道路や緑道の美化活動を推進します。 	拡充	公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係) 基盤保全課、基盤整備課	B モニタリング指標	街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,997	22,721	↓		D 公園みどり推進課による検証	B	街路樹本数が減少しましたが、植樹帯の美化活動や街路樹の剪定などの街路樹の保全に対する取組みがなされているため、概ね施策を実施できていると評価します。	老木化や樹勢の劣化などの様々な問題が生じている街路樹の保全、育成をしていくために、不適切な剪定や植栽が発生しないよう計画的に維持管理を行う必要があります。									
					街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,517	7,509	↓														
					街路樹本数(国道)	本	(累計)	485	384	↓														
					街路樹低木面積(市道)	m ²	(累計)	75,030	75,154	↑														
					豊中市アダプトシステム協定締結件数	件	(累計)	24	24	—														
					大阪府アドプト・ロードプログラム協定締結件数	件	(単年)	10	10	—														
					自主管理協定制度登録団体数	団体	(累計)	171	171	—														
					自主管理協定制度活動箇所数(緑道)	箇所	(累計)	20	20	—														
					C 担当課による検証		担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						公園みどり推進課(維持管理係) 街路樹の剪定や樹木の更新を実施しました。また、「自主管理協定制度」や「豊中市アダプトシステム」に参加している団体による植樹帯等の清掃活動を行いました。		本市の多くの街路樹は植栽後数十年が経過し、老木化や樹勢の劣化など様々な問題が生じております。その中で街路樹の保全、育成をしていくためにも、不適切な剪定や不適切な植栽などが発生しないよう計画的に維持管理をしていく必要があります。						
					9. 河川のみどりの保全																			
A 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・河川のみどりを保全するため、景観や利活用、周辺環境、生き物の生息・生育環境に配慮した適正な維持管理を推進するとともに、河川に隣接する公園・緑地や街路樹、河川沿いのみどりの量を確保する維持管理を推進します。 ・猪名川や旧猪名川の堤防敷や高水敷に発達したまとまりのある草地の環境を保全するため、生き物の生息・生育環境に配慮した草刈りなどの維持管理を推進します。 ・緑道や緑地帯が整備されている神崎川の高水敷において、景観や利活用に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行います。 ・千里川や宛川などのまちなかを流れる河川のみどりを保全するため、周辺環境に配慮した維持管理を推進するとともに、河川に隣接する公園・緑地や街路樹のみどりの量の確保に努めます。 ・堤内地側の法面に樹林地や草地が多く見られる天竺川や高川において、河川沿いのみどりの量を確保する樹木の剪定や草刈りなどの維持管理を推進します。 ・地元の自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「大阪府アドプト・リバープログラム」により、河川の美化活動を推進します。 	継続	大阪府、公園みどり推進課(維持管理係、緑化自然環境係)	B モニタリング指標	大阪府アドプト・リバープログラム協定締結件数	件	(単年)	9	9	—		D 公園みどり推進課による検証	B	指標の増減はありませんが、河川の清掃活動など、河川のみどりの保全に対する取組みがなされているため、概ね施策を実施できていると評価します。	「大阪府アドプト・リバープログラム」などの制度を積極的に促し、引き続き地域と協働した維持管理を行う必要があります。									
					河川流域面積	ha	(累計)	77	77	—														
					C 担当課による検証		担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						公園みどり推進課(維持管理係) 河川に隣接する公園・緑地や街路樹について、剪定や草刈りなどの維持管理を行いました。また、「大阪府アドプト・リバープログラム」に参加している団体による河川の清掃活動を行いました。		河川のみどりの保全には、河川管理者と協働しながら推進していく必要があり、「大阪府アドプト・リバープログラム」などの制度を地域住民に対してPRを図っていくことが必要です。						
					10. 水路のみどりの保全や育成																			
					A 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央幹線景観水路や豊能南部親水水路のみどりを保全するため、散策路の環境や良好な景観を維持する樹木の剪定などの適正な維持管理を行います。 	継続	基盤保全課、公園みどり推進課(緑化自然環境係)	B モニタリング指標	親水水路樹木本数	本					(累計)	1,468	1,468	—		D 公園みどり推進課による検証	B	指標の増減はありませんが、水路について、植栽管理や清掃などの適正な維持管理を行っていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	水路施設の老朽化によって、良好な景観が損なわれないよう、計画的な維持管理や更新を行う必要があります。
										親水水路低木面積	m ²					(累計)	11,860	11,860	—					
										C 担当課による検証						担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題					
					11. ため池のみどりの保全																			
					A 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・緑地のため池について、生き物の生息・生育環境、景観に配慮した樹木の剪定や草刈りなどの適正な維持管理を行うとともに、その他のため池についても、周辺環境に配慮した適正な維持管理を推進します。 	継続	資産管理課、公園みどり推進課(維持管理係、緑化自然環境係)	B モニタリング指標	公共系ため池箇所数	箇所					(累計)	38	38	—		D 公園みどり推進課による検証	B	指標の増減はありませんが、公園・緑地のため池について、除草や清掃などの適正な維持管理を行っていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	公園・緑地のため池について、良好な生き物の生息・生育環境、景観を推進するため、地域と協働しながら維持管理を行う必要があります。
										C 担当課による検証						担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題					

基本施策4 農地の保全

12. 生産緑地地区制度の活用															
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					生産緑地地区面積	ha	(累計)	37.41	36.89	↓					
	・「生産緑地地区制度」などの活用により、農地の計画的な保全に努めるとともに、必要に応じて、指定面積要件の緩和や特定生産緑地の指定などについて検討します。 ・同地区を農地として維持していくため、「農空間保全地域制度」の活用により、農業者だけでなく、市民の幅広い参加による農空間の保全と活用を推進します。	拡充	都市計画課、大阪府、農業委員会	C 担当課による 検証	農地面積	ha	(累計)	66	62	↓			B	農地面積が減少しましたが、今後の農地が保全されるための施策として生産緑地の指定面積要件の緩和を行ったため、概ね施策を実施できていると評価します。	農地保全のため、生産緑地制度とともに、農業への関心を高めるための体験やイベントなどによる農空間の活用の検討が必要です。
担当課					平成30年度の実施内容			施策に対する課題							
					都市計画課			生産緑地地区の面積要件を300㎡に引下げる条例の制定及び追加指定に向けた制度設計を行いました。 また説明会の開催等により、特定生産緑地や追加指定について周知を行いました。			指定から30年を迎える生産緑地については、30年経過するまでに特定生産緑地の指定を必要があるため、生産緑地所有者に対し、正確な情報の提供と指定意向確認の徹底に努めます。				
13. 市民農園の活用															
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					市民農園箇所数	箇所	(累計)	25	22	↓					
	・市民農園の利用促進と充実化及び運営の効率化などを図るため、農地の貸付協定の締結を推進するとともに、市民農園の提供期間などの運営手法の見直しについて検討します。	拡充	農業委員会	C 担当課による 検証	市民農園箇所数	箇所	(累計)	25	22	↓			B	市民農園箇所数がわずかに減少しましたが、栽培講習会の実施など市民農園を活用する取り組みを行っているため、概ね施策を実施できていると評価します。	引続き市民農園の確保に努めるとともに、開設を維持していけるような運営手法の見直しについて検討が必要です。
担当課					平成30年度の実施内容			施策に対する課題							
					農業委員会			市民農園開設者と貸付け協定を締結し、運営費の助成及び利用者募集、栽培講習会を実施しました。			開設者の高齢化が進み、相続発生時には閉園する農園が増えており、区画数確保が課題です。				

施策の進捗・効果検証シート

進捗評価

「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。

A:すべての施策内容を実施することができている。

B:概ね施策内容を実施することができているが、実施できていない施策がある。

C:施策内容を実施することができているものもあるが、実施できていない施策も多い。

D:施策内容のほとんどが実施できていない。

基本方針2 都市のみどりや地域の身近なみどりの創出

基本施策5 公有地の緑化

14. 駅前や道路における特色のある緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所)	花壇設置面積	㎡	(累計)	612	622	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	駅前広場や道路沿いなどの多くの人が通行する場所では、物理的な制約があり、量的なみどりの増加は難しいものの、特色あるみどりの創出には地域の緑化活動団体との協働が重要となるため、引き続き活動に対する支援や新たな人材発掘と育成が必要である。	
			フラワーポット設置数	基	(累計)	1,616	1,615	↓					
			まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	8	10	↑					
			まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト数	件	(累計)	3	3	—					
			花苗育苗数	株	(単年)	60,651	69,433	↑					
			担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題							
			花とみどりの相談所	駅前広場や道路沿いなどの花壇やフラワーポットの維持管理を適正に行うとともに、市民との協働による花苗の育苗に取組み、イベントでの配布や各地域の花壇活動グループへの提供を行うなど、公共施設などの公有地の緑化を推進しました。		活動者の高齢化など担い手の減少が懸念されることから、活動の支援や人材発掘、育成が必要である。							
15. 多様な手法による公共施設の緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	庁内各部署、環境政策課、公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所)	環境配慮協議件数	件	(単年)	40	48	↑		D 公園みどり推進課による検証	B	公共施設屋上緑化面積などが減少しましたが、豊中市伊丹市クリーンランドの整備などに伴い、環境配慮協議緑化面積が増加したことから、概ね施策を実施できていると評価します。	
			環境配慮協議緑化面積	㎡	(単年)	9,186	26,230	↑					
			公共施設屋上緑化面積	㎡	(累計)	35,946	34,513	↓					
			公立小学校みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)	30	33	↑					
			公共施設等みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)	35	32	↓					
			公共施設等ビオトープ設置件数	件	(単年)	8	8	—					
			公共施設等ビオトープ設置面積	㎡	(単年)	4,402	4,402	—					
担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題										
環境政策課	豊中市伊丹市クリーンランドなどの整備に伴い、公共施設の環境配慮指針の適切な指導を行い、平成29年度に比べて緑化した面積が増加しました。		公共施設の整備や大規模改修の際には、引き続き環境配慮指針に基づき適切な指導を行うとともに、民有地の模範となるような良質な植栽空間づくりへのアドバイスも必要である。										
16. 市民の交流拠点となるポケットパークの緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、維持管理係、整備改良係)	フラワーポット設置数	基	(累計)	1,616	1,615	↓		D 公園みどり推進課による検証	A	新たなポケットパークの整備はありませんが、適正に維持管理を行うことにより、市民の交流拠点としてのポケットパークの適正な維持管理を引続きしていく必要があります。	
			花壇設置面積	㎡	(累計)	612	622	↑					
			花苗育苗数	株	(単年)	60,651	69,433	↑					
			まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト数	件	(累計)	3	3	—					
			まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	8	10	↑					
			担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題							
			公園みどり推進課(緑化自然環境係)	新たなポケットパークの整備はありませんでしたが、緑陰を保全する剪定を行うなど市民の交流となるよう既存のポケットパークの維持管理を行いました。		道路整備などにかかる残地が発生した場合には、みどりを活用した憩いのスペースの整備が必要である。							
17. 教育施設や保育施設における緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	教育委員会、子ども事業課、公園みどり推進課(緑化自然環境係)	緑化樹配付件数(公立小・中学校)	件	(単年)	7	6	↓		D 公園みどり推進課による検証	A	緑化樹配付件数(公立小・中学校)は減少しましたが、その他の指標は現状維持又は増加していることから、施策を実施できていると評価します。	
			緑化樹配付本数(公立小・中学校)	本	(単年)	94	94	—					
			小・中学校及び子ども園ビオトープ設置件数	件	(単年)	22	22	—	5年毎の調査(前回 平成27年度)				
			小・中学校及び子ども園ビオトープ設置面積	㎡	(単年)	3,560	3,560	—	5年毎の調査(前回 平成27年度)				
			公立小学校農園実施校数	校	(単年)	39	39	—					
			公立小学校みどりのカーテン実施箇所数	箇所	(単年)	30	33	↑					
			公立小・中学校・子ども園芝生化件数	件	(単年)	7	7	—	H24終了:公立小学校の芝生化事業(府助成事業)				
公立小・中学校・子ども園芝生化面積	㎡	(単年)	8,700	8,700	—	H24終了:公立小学校の芝生化事業(府助成事業)							
担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題										
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	市民との協働により、公立小学校や子ども園等に「みどりのカーテン」の指導を行い、多くの施設で実施されました。また、小中学校への緑化樹の配付等を行いました。		引き続き公立小中学校を中心としたみどりのカーテンづくりを実施するとともに、みどりのカーテンづくりの指導方法の見直しについての検討が必要である。										

基本施策6 民有地の緑化

18. 環境配慮指針に基づく緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	環境政策課	B モニター指標	環境影響評価計画書提出件数	件	(単年)	1	3	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	環境配慮協議緑化面積などが増加しており、環境配慮指針に基づく適正な協議による緑化の推進が図れていることから、施策を実施できていると評価します。 引き続き協議をする事業者に対して、指針に則った緑化の推進や「環境配慮奨励金交付制度」の活用をしていただくよう、制度の趣旨や内容を十分に説明していく必要があります。
				環境配慮協議件数	件	(単年)	40	48	↑				
				環境配慮協議緑化面積	m	(単年)	9,186	26,230	↑				
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						
環境政策課	昨年と比較すると、配慮協議件数と緑化面積は増加しています。環境配慮協議については、全体の半数が戸建住宅・共同住宅を占めており、続いて商業施設や工場が多くなっています。概ね指針に基づく緑化ができています。		配慮協議については、ばらつきがあり件数が増え、緑化面積が増えないこともあります。大きな開発があると、それに伴い緑化面積も大きく増える傾向が見られます。公共施設の開発については限られたエリアに多くの機能を果たせようとするため緑化が少なくなる傾向にあります。										
19. 住宅地における緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	拡充	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	B モニター指標	緑化樹配付件数(住宅地)	件	(単年)	25	25	—		D 公園みどり推進課による検証	B	緑化樹配付件数などがわずかに減少しましたが、生垣緑化助成金交付制度の拡充など、緑化推進のための取組みがなされていることから、概ね施策を実施できていると評価します。 住宅地の更なる緑化推進のため、市の木である「キンモクセイ」や市の花である「バラ」などの記念樹を配付する制度について、取組みを進めていく必要があります。
				緑化樹配付本数(住宅地)	本	(単年)	2,498	2,260	↓				
				生垣緑化助成件数(住宅地)	件	(単年)	4	2	↓				
				生垣緑化助成本数(住宅地)	本	(単年)	67	190	↑				
				生垣緑化助成延長(住宅地)	m	(単年)	18	59	↑				
				記念樹の配付本数	本	(単年)	-	-	—	(配布再開までは数値なし)			
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	住宅地に対して、緑化用樹木の配付や生垣緑化助成を行いました。また、大阪北部地震の被害を受けて創設された「ブロック塀撤去助成金」に合わせて、ブロック塀撤去後に生垣に変更されるよう生垣緑化助成金交付制度の拡充を行いました。		みどりの保全や緑化に関する支援制度の活用を推進するため、積極的な普及啓発が必要です。										
20. 商業地における緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係)、市街地整備課、大阪府	B モニター指標	緑化樹配付件数(商業地)	件	(単年)	2	3	↑		D 公園みどり推進課による検証	B	中心市街地にぎわい事業助成件数がわずかに減少しましたが、生垣緑化助成金交付制度の拡充など、緑化推進のための取組みがなされていることから、概ね施策を実施できていると評価します。 住宅地に比べ、緑化の取組みが少ない商業地に対して、「中心市街地にぎわい事業助成金交付制度」などの制度との連携により、施策を推進する必要があります。
				緑化樹配付本数(商業地)	本	(単年)	51	103	↑				
				生垣緑化助成件数(商業地)	件	(単年)	0	0	—				
				生垣緑化助成本数(商業地)	本	(単年)	0	0	—				
				生垣緑化助成延長(商業地)	m	(単年)	0	0	—				
				まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数	件	(累計)	3	3	—				
				まちづくり団体の取組み箇所数	箇所	(累計)	8	10	↑				
				中心市街地にぎわい事業助成件数	件	(単年)	8	7	↓				
				実感できるみどりづくり事業補助件数	件	(単年)	0	0	—				
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	商業地に対して、緑化用樹木の配付を行いました。また、大阪北部地震の被害を受けて創設された「ブロック塀撤去助成金」に合わせて、ブロック塀撤去後に生垣に変更されるよう生垣緑化助成金交付制度の拡充を行いました。		みどりの保全や緑化に関する支援制度の活用を推進するため、積極的な普及啓発が必要です。										
21. 工業地における緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係)、産業振興課	B モニター指標	緑化樹配付件数(工業地)	件	(単年)	1	0	↓		D 公園みどり推進課による検証	D	工業地に対する緑化樹配付件数と本数の実績がなっていないことから、施策が実施できていないと評価します。 住宅地に比べ、緑化の取組みが少ない工業地に対して、「環境配慮奨励金交付制度」などの制度との連携により、施策を推進する必要があります。
				緑化樹配付本数(工業地)	本	(単年)	5	0	↓				
				環境配慮奨励金交付件数	件	(単年)	4	0	↓				
C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題									
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	広報誌などで、「緑化樹等配付制度」などの緑化の制度について情報発信をしましたが、緑化樹配付件数がありませんでした。		みどりの保全や緑化に関する支援制度の活用を推進するため、積極的な普及啓発が必要です。										
22. 道路沿線における緑化													
具体施策	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
A 施策内容	継続	大阪府、環境政策課、公園みどり推進課(緑化自然環境係)	B モニター指標	みどりの風の道形成事業補助件数	件	(累計)	0	3	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	みどりの風促進区域にて助成を実施し、まちなかの緑化を推進していることから、施策を実施できていると評価します。 引続き促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為や建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。
				C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題					
環境政策課	みどりの風促進区域にて助成を3件行いました。		促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為・建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府と連携を図る必要があります。										

基本施策7 景観を形成するみどりづくり

23. 風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				風致地区決定面積	ha	(累計)	194.4	194.4	—					
<p>・風致地区、大石塚風致地区、稲荷山風致地区、東豊中風致地区において、自然なみどりと調和した都市景観の形成に努めます。</p>	継続	都市計画課、公園みどり推進課(緑化自然環境係)	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				風致地区決定面積	ha	(累計)	194.4	194.4	—					
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				都市計画課			風致地区内において建築物の新築、宅地の造成、木竹の伐採等の行為を行う場合、条例の基準をもとに審査を行い、許可を行いました。			風致に富んだ良好な都市景観を継承していくために、許可基準に基づく適正な規制を継続して行い、許可に基づく行為終了後は、許可内容との適合を確認するため、定期的な現場パトロールを行う必要があります。				
24. 良好なみどりの景観を形成する制度を活用した地域づくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				地区計画決定件数	件	(累計)	20	22	↑					
				緑地協定締結件数			2			2				
				景観形成協定締結件数			2			2				
				建築協定締結件数			11			10				
				都市景観形成推進地区指定件数			4			4				
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				公園みどり推進課(緑化自然環境係)			良好な住環境の維持・保全を図るため地区計画決定を行いました。(2件)			開発行為等によって整備される地区や地区計画決定される地区などに、生垣や植栽などの緑化に関するルールづくりを啓発していくことが必要です。				
25. 花とみどりの名所づくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				バラ園育成管理本数	本	(累計)	2,126	2,126	—					
				花しょうぶ園育成管理面積			820			820				
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				公園みどり推進課(緑化自然環境係)			平成30年度は台風による倒木処理等の影響により、「花とみどりの名所マップ」の作成の検討について見送りました。			花とみどりの名所マップの作製にあたり、他課が発行する既存の冊子との整合性を計りながら、独自の視点での名所の選定が必要となる。また、市民との協働及び適正な維持管理手法についても検討が必要です。				
				花とみどりの相談所			花しょうぶ園において、外来種である黄しょうぶの撤去を行うとともに、新しい株の植付けを行い適正な維持管理に努めました。			バラ園において、株の老朽化が増加していることから、定期的な更新作業が必要です。				
26. みどりを見渡す眺望点づくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				眺望点設置箇所数	箇所	(累計)	5	5	—					
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				公園みどり推進課(維持管理係)			島熊山緑地において、みどり豊かな眺望の確保のため、市民との協働により、園路の整備や森林病害虫の防除などの維持管理を行いました。			各眺望景観を保全できるよう、地域と眺望景観の価値を共有しつつ、眺望の特徴を活かした適正な維持管理が必要です。				
27. 草花による美しいまちなみづくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				花いっぱい運動団体数(花いっぱい運動ネットワーク)	団体	(累計)	37	37	—					
				花いっぱい運動写真展応募数			143			168				
				花苗育苗数			60,651			69,433				
				花壇設置面積			612			622				
				フラワーポット設置数			1,616			1,615				
				種子・球根配布数			7,780			7,762				
				レンゲ種子配布量			0			117				
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				花とみどりの相談所			緑化活動団体との協働により、農家や各地域の花壇活動グループへの育苗材料の提供などの支援を行うとともに、10月に活動の輪を広げる情報発信の場として「花いっぱい運動写真展」を開催しました。			活動を推進していくために、更なる情報発信や普及啓発への取組が必要です。活動者の高齢化など担い手の減少が懸念されることから、活動の支援や人材発掘、育成が必要です。				
28. 屋上や壁面を活用したみどりづくり														
A 施策内容	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
				環境配慮協議件数	件	(単年)	40	48	↑					
				環境配慮協議緑化面積			9,186			26,230				
				公立小学校みどりのカーテン実施箇所数			30			33				
				公共施設等みどりのカーテン実施箇所数			35			32				
				C 担当課による検証			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
				公園みどり推進課(緑化自然環境係)			市民との協働により、公立小学校や公共施設等へ、ゴーヤによるみどりのカーテンづくりの指導を行いました。			毎年、約60か所から依頼を受け、現地でみどりのカーテンづくりの指導を行っています。小学校や施設等が独自で実施できるような方法を検討する必要があります。				

施策の進捗・効果検証シート

進捗評価

「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。

- A: 全ての施策内容を実施することができている。
- B: 概ね施策内容を実施することができているが、実施できていない施策がある。
- C: 施策内容を実施することができているものもあるが、実施できていない施策も多い。
- D: 施策内容のほとんどが実施できていない。

基本方針3 みどりを活かした安全で快適なくらしの実現

基本施策8 魅力的で利便性の高い公園づくり

29. 長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					都市計画公園・緑地未整備面積	m ²	(累計)	366,900	366,900	—					
A 施策内容	・長期未整備となっている都市計画公園・緑地については、都市計画決定後の社会情勢の変化を踏まえて、必要性や実現性など、様々な観点から整備のあり方について検討します。	新規	公園みどり推進課(企画調整係)	Bモニター指標	担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題		D 公園みどり推進課による検証	B	都市計画公園・緑地未整備面積の減少はしていませんが、長期未整備となっている街区公園について、整備の必要性を検討していることから、概ね施策を実施できていると評価します。	長期未整備となっている都市計画公園・緑地について、用地を取得するにあたって、長期に時間を要することや利用者のニーズなどを考慮しながら、整備の必要性や実現性について検討していく必要があります。
					公園みどり推進課(企画調整係)	長期未整備となっている街区公園に対して、都市計画公園以外の公園にて、防災などの機能が代替可能かを評価するなど、整備の必要性について検討しました。	長期未整備となっている都市計画公園・緑地については、用地取得の課題など、未整備解消までには時間を要します。近隣の公園・緑地などで、未整備となっている公園の機能が補完できるかを勘案しながら、整備の必要性を検討していく必要があります。								
30. 安全で特色のある公園づくり															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					公園施設再整備箇所数	箇所	(累計)	6	7	↑					
A 施策内容	・「豊中市公園施設長寿命化計画」や「都市公園移動等円滑化基準」などに基づき、老朽化が進んだ公園・緑地の施設の更新やバリアフリー化などを推進します。 ・公園・緑地の活性化を図るため、公園スペースの有効活用に努めるとともに、再整備や施設の改修の際は、地域住民の意見を取り入れるなど、利用者のニーズや少子高齢化、健康志向などの社会背景などを踏まえた公園づくりを推進します。 ・本市の魅力である高校野球発祥の地であることを広く周知するため、高校野球発祥の地記念公園の活用を促します。 ・体力向上や健康増進などを目的に、運動施設や植栽のみどりを充実させる神崎川公園の再整備を行うとともに、老朽化に伴う二ノ切温水プール再整備を行います。	拡充	公園みどり推進課(整備改良係、企画調整係、維持管理係)、スポーツ振興課	Bモニター指標	公園・緑地の整備箇所数	箇所	(単年)	1	4	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	トイレの更新や段差解消等のバリアフリー化や老朽化が進んだ公園・緑地の施設更新を行っていることから、施策を実施できていると評価します。	利用者のニーズや少子高齢化、健康志向などの社会背景などを踏まえた公園づくりを推進していくには、公園の再整備や施設改修などの際に、地域と話し合いの場を設けていくことが必要です。
					公園・緑地の整備面積	m ²	(単年)	113	580	↑					
					市民参画型公園整備箇所数	箇所	(単年)	0	0	—					
					担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題					
公園みどり推進課(整備改良係)	上新田4丁目外2公園において遊具の更新を行い、野畑公園外3公園においてはトイレの更新や段差解消等のバリアフリー化を行いました。	公園の再整備や施設の改修の際に、地域住民の意見を取り入れた公園の整備をするために、地域との話し合いの場を設けていくことが必要です。													
31. 開発許可制度及び土地区画整理事業による身近な公園づくり															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					開発行為における公園・広場等の設置協議件数	件	(単年)	1	2	↑					
A 施策内容	・「開発許可制度」による公園については、その公園づくりのあり方について検討するとともに、同制度や土地区画整理事業による公園づくりについては、事業者などとの協議により、まちなかのオープンスペースや憩いの場となる身近な空間づくりを推進します。 ・大阪府の「自然環境の保全と回復に関する協定」により設置される公園・緑地については、事業者などとの協議により、まちなかで良好なみどりを認めることができる自然環境と調和した空間づくりを推進します。	拡充	公園みどり推進課(整備改良係、緑化自然環境係、企画調整係)	Bモニター指標	自然環境の保全と回復に関する協定件数	件	(累計)	14	15	↑		D 公園みどり推進課による検証	A	豊中市土地利用の調整に関する条例に基づき、事業者などと協議し、適正な公園・緑地の確保が図れていることから、施策を実施できていると評価します。	開発行為等によるみどりの減少を抑制するため、事業者などに対して、「環境配慮奨励金交付制度」などの活用を積極的に促すなど、働きかけが必要と見えます。
					担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題					
公園みどり推進課(整備改良係)	豊中市土地利用の調整に関する条例に基づき、開発行為が区域の公園、緑地又は広場の設置(帰属公園)、また自主管理のオープンスペースの設置について調整を行いました。	開発許可面積が増加しており、みどりの減少要因となっています。緑化の効果を得るため、事業者などに対して、積極的な働きかけが必要です。													
32. 地域住民との連携による愛着が持てる公園づくり															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					自主管理協定制度登録団体数	団体	(累計)	171	171	—					
A 施策内容	・地域住民が公園・緑地などの維持管理に参加する「自主管理協定制度」、地元自治会や事業者などの団体が行う清掃活動などを支援する「豊中市アダプトシステム」などにより、地域に根ざした良好な公園づくりを推進するとともに、参加団体の広がりをめざして積極的な制度の普及啓発に努めます。 ・公園・緑地を活用した地域のイベントなどの交流機会の充実を促すことで、活気のある公園づくりを推進します。	継続	公園みどり推進課(維持管理係)	Bモニター指標	自主管理協定制度活動箇所数(公園)	箇所	(累計)	199	195	↓		D 公園みどり推進課による検証	B	自主管理協定制度の活動箇所数が減少しましたが、地域住民と協働したイベントを行うことにより、地域に根ざした公園づくりを推進できていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	引続き地域住民に愛着を持っていただくために、地域と連携した公園づくりやイベントの開催をしていくことが必要と見えます。
					豊中市アダプトシステム協定締結件数	件	(累計)	24	24	—					
					担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題					
					公園みどり推進課(維持管理係)	空港周辺地域住民と協働して「ふれあい緑地フェスティバル」を開催しました。(来場者約4000人)地域住民と協働して整備した高校野球発祥の地記念公園にて、第100回記念大会の始球式リレーの出発式など、イベントを開催しました。	地域清掃などの活動者の高齢化など担い手の減少が懸念されることから、活動の支援が必要です。								

基本施策9 防災・減災に資するみどりづくり

33. 公園・緑地における防災機能の強化															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					公園・緑地の防災施設設置箇所数	箇所	(累計)	156	157	↑					
A 施策内容	・広域避難場所や応援受入拠点、後方支援活動拠点となっている公園・緑地などにおいては、敷地内の安全域を確保するため、沿道のみどりによる延焼遮断帯の形成を推進します。 ・公園・緑地における防災機能を維持するため、災害発生時の避難場所や復旧活動の拠点などとして利用できるオープンスペースの確保に努めるとともに、耐震性貯水槽(防火水槽)や雨水貯留施設、マンホールトイレなどの防災施設の適正な維持管理を行います。	継続	公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係)	C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題		D 公園みどり推進課による検証	A	公園・緑地の防災施設設置箇所数が増加していることから、施策を実施できていると評価します。	消防局や危機管理事務局及び地域住民と連携を図り、災害時に十分な機能を果たせるよう施設の適正な維持管理を行うことが必要です。
					公園みどり推進課(整備改良係)	北町2丁目第2公園に耐震性貯水槽を設置しました。	防災施設を適正に維持管理していくため、計画的な点検及び更新を実施していく必要があります。								
34. 庄内・豊南町地区における防災機能の強化															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,997	22,721	↓					
A 施策内容	・木造住宅などが密集する地域の「庄内・豊南町地区」における防災対策として、「第3次庄内地域住環境整備計画」に基づき、緑道を整備するとともに、都市計画道路の街路樹の整備を推進します。	拡充	市街地整備課、基盤整備課	Bモニター指標	街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,517	7,509	↓		D 公園みどり推進課による検証	C	緑道の整備に向けた取組みを図っていますが、街路樹本数などの指標が減少していることから、施策の一部しか実施できていないと評価します。	「第3次庄内地域住環境整備計画」に基づき、緑道を整備するとともに、都市計画道路の街路樹の整備を推進する必要があります。
					街路樹本数(国道)	本	(累計)	485	384	↓					
					街路樹低木面積(市道)	m ²	(累計)	75,030	75,154	↑					
					緑道・街路樹整備件数	件	(累計)	3	0	↓					
					担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題					
					市街地整備課	緑道の整備に向けて、権利者との調整を行いました。	緑道など整備については、権利関係が複雑している場合が多く、調整に時間を要します。								
基盤整備課	当該年度は街路樹や緑道整備の実施はありませんでした。	道路構造令やバリアフリーの観点から歩道幅員確保が求められており、植栽整備が難しい場合があります。													
35. 地域防災計画に基づく市街地の緑化															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					街路樹本数(市道)	本	(累計)	22,997	22,721	↓					
A 施策内容	・延焼防止効果の期待できる広幅員の道路について、街路樹や緑道整備などの緑化による防災機能の強化を図ります。 ・「生垣緑化助成金交付制度」による緑化を推進するなど、建築物の防火に資する緑化を推進するとともに、延焼防止効果の高い樹種や植栽方法の助言など、防災効果を高めるみどりの普及啓発に努めます。	継続	基盤保全課、公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係、緑化自然環境係)	Bモニター指標	街路樹本数(府道)	本	(累計)	7,517	7,509	↓		D 公園みどり推進課による検証	D	台風などの被害により街路樹の倒木があり、被害木の処理を優先して実施し、緑化による防災機能の強化はできませんでしたので、施策が実施できていないと評価します。	緑化による防災機能の確保と合わせて、幅員確保や倒木の恐れのある街路樹の撤去など適正なみどりの育成と保全の必要があります。
					街路樹本数(国道)	本	(累計)	485	384	↓					
					街路樹低木面積(市道)	m ²	(累計)	75,030	75,154	↑					
					緑道・街路樹整備件数	件	(累計)	3	0	↓					
					生垣緑化助成件数	件	(単年)	4	2	↓					
					生垣緑化助成本数	本	(単年)	67	190	↑					
					担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題					
					基盤保全課	台風などの被害により街路樹の倒木があり、被害木の処理を優先して実施しました。	街路樹は高度経済成長期を中心に植栽されており、老朽化、大木化、腐朽が進行しているため、倒木の危険性や沿道建物への接触・越境などの課題があります。								
36. 公共施設一体型公園づくり															
具体施策	施策概要	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
					公共施設一体型公園整備箇所数	箇所	(累計)	0	0	—					
A 施策内容	・「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の再配置などが行われる際に、都市公園が隣接する、あるいは都市公園の整備が計画されている場合には、災害時に施設の相互利用が可能な導線の確保や災害時の施設間の連携を図るなど、他の公共施設と一体となった公園づくりを検討します。	新規	公園みどり推進課(整備改良係)	C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容				施策に対する課題		D 公園みどり推進課による検証	D	市の新たな都市公園の整備や都市公園に隣接する公共施設の整備がなかったため、施策が実施できていないと評価します。	危機管理事務局や他の公共施設管理者と連携し、都市公園と都市公園に隣接する公共施設の一体的活用方法について基準を検討する必要があります。
					公園みどり推進課(整備改良係)	市の新たな都市公園の整備や都市公園に隣接する公共施設の整備は、ありませんでした。	都市公園と都市公園に隣接する公共施設が一体的に活用されるよう基準を検討する必要があります。								

基本施策10 みどりの保全や緑化活動に対する支援

37. みどりに関する活動を広げる交流の場の活用														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	Bモニター指標	指標	人	(単年)	815	810	↓		D公園みどり推進課による検証	B	みどりの交流会参加者数が減少しましたが、みどりのカーテンづくりなど各種プロジェクトを実施してきていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	みどりの保全や緑化活動を推進するために、減少傾向にあるみどりの交流会の参加者数を増加させるため、引続き活動に対する支援や新たな人材発掘が必要です。
				豊中みどりの交流会参加者数										
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				公園みどり推進課(緑化自然環境係)	市民と協働によるみどりの交流会運営委員会や各種プロジェクト活動のほか、みどりのフォーラム、みどりのつどい等を実施しました。			活動に参加する市民が固定化され、また、高齢化していることなどから、参加者の活性化を図る必要があります。						
38. 花とみどりの相談所の活用														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(花とみどりの相談所)	Bモニター指標	指標	件	(単年)	870	627	↓		D公園みどり推進課による検証	C	花とみどりの講習会等の実施が減少しましたが、花とみどりの相談所と花とみどりの講習会参加者数の指標が大幅に減少していることから、施策の一部しか実施できていないと評価します。	市民との協働における活動のPRの強化や、花とみどりの講習会の参加者数の増加に向けて、講習会の内容の見直しなど、花とみどりの相談所の活用のための検討が必要です。
				花とみどりの相談所	人	(単年)	1,861	1,226	↓					
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				花とみどりの相談所	市民の緑化意識の高揚を図るために、花とみどりに関する相談を行うとともに、植栽知識の普及を目的に、花とみどりの講習会を開催しました。			相談件数は減少傾向にあります。講習会の参加者はピーターが多く、より広く参加者を募る必要があります。						
39. 緑化リーダーの養成														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(花とみどりの相談所)	Bモニター指標	指標	人	(単年)	49	49	—		D公園みどり推進課による検証	B	緑化リーダー養成講座受講者数が減少しましたが、緑化リーダー会員数と活動面積が増加していることから、概ね施策を実施できていると評価します。	緑化リーダー養成講座受講者数の増加を図るため、市民ニーズを反映した魅力ある内容にするなど、講座内容や過程を見直し、積極的な普及啓発が必要です。
				緑化リーダー養成講座受講者数										
				緑化リーダー養成講座修了者数	人	(単年)	46	40	↓					
				豊中緑化リーダー会員数	人	(累計)	114	121	↑					
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				花とみどりの相談所	地域での緑化活動の推進を進めるため、その指導者となる人材の発掘と育成を目的とした緑化リーダー養成講座、初級、中級、上級の3コースを開催しました。			近年、受講者が減少していることや、高齢化していることから、講座受講年数や内容の見直しなどの検討が必要です。						
40. 生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係)	Bモニター指標	指標	トン	(単年)	107	106	↓		D公園みどり推進課による検証	B	堆肥「とよびー」を配布することから、概ね施策を実施できていると評価します。	堆肥「とよびー」の配布により緑化を推進する一方、その原料が学校給食の食べ残しなどであることから、食品ロスや資源循環など多面的な視点で施策の評価を考える必要があります。
				とよびー配布・頒布量										
			C 担当課による検証	指標	トン	(単年)	41	34	↓					
				緑化用パーク配布量										
				担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				公園みどり推進課(緑化自然環境係)	市民との協働により堆肥「とよびー」の配布・頒布、公共施設等への「緑化用パーク」の配布を行いました。			堆肥「とよびー」の配布により緑化を推進する一方、その原料が学校給食の食べ残しなどであることから、食品ロスや資源循環など多面的な視点で施策の評価を考える必要があります。						
41. 緑化樹木見本園及び記念樹の森の活用														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(維持管理係、整備改良係、緑化自然環境係)	Bモニター指標	指標	種	(累計)	77	77	—		D公園みどり推進課による検証	A	樹木の剪定などの適正な維持管理を行っていることから、施策を実施できていると評価します。	緑化の啓発やみどりに親しみ場として有効に活用するため、施設の情報発信をHPで発信していますが、更なる情報発信や普及啓発への取組みが必要です。
				緑化樹木見本園樹木種類数										
			C 担当課による検証	指標	本	(累計)	200	200	—					
				記念樹の森樹木本数										
				担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				公園みどり推進課(維持管理係)	緑化樹木見本園及び記念樹の森について、樹木の剪定などの維持管理を行いました。			現在、施設の情報発信をHPで発信していますが、更なる情報発信や普及啓発への取組みが必要です。						
42. みどりに関する活動発表の場や表彰制度の活用														
具体施策	実施状況	担当課	Bモニター指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所)	Bモニター指標	指標	件	(単年)	8	5	↓		D公園みどり推進課による検証	A	「花いっぱい運動写真展」を開催することにより、市民参加や市民との協働による取組みの認知度の向上を図っていることから、施策を実施できていると評価します。	引き続き定期的なイベントによる普及啓発を推進していくとともに、新たな手法による情報発信についても検討が必要です。
				各種表彰制度の受賞件数										
			C 担当課による検証	指標	点	(単年)	143	168	↑					
				花いっぱい運動写真展応募数										
				担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
				花とみどりの相談所	住宅や公園、道路などの一部で草花を育てる活動の普及啓発を目的に、10月に「花いっぱい運動写真展」を開催しました。			活動を推進し、より多くの方々に応募いただくために、更なる情報発信や普及啓発への取組みが必要です。						

基本施策11 みどりの普及啓発

43. みどりに関するイベントの開催													
A 施策内容	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所、企画調整係)	B モニター指標	みどりに関するイベント参加者数	人	(累計)	13,762	27,681	↑	平成29年度からの累計値	B	NPO法人などの環境保全活動団体が減少しましたが、その他の指標が増加していることから、概ね施策を実施できていると評価します。	みどりに関するイベントの開催を引き続き実施し、参加者数の増加を図るとともに、幅広い世代が参加したくなるようイベント内容を工夫する必要があります。
				公民館等の自然環境関連イベント件数	件	(単年)	7	8	↑				
				農業祭参加者数	人	(単年)	3,500	4,500	↑				
				NPO法人などの環境保全活動団体数	人	(単年)	19	17	↓				
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	みどりのフォーラムや豊中みどりの交流会展など、様々なみどりに関するイベントを実施しました。	みどりに関するイベントの参加者数は、警報発令による中止や天候等によって参加者数が大きく増減します。											
44. みどりに関する情報発信													
A 施策内容	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(緑化自然環境係、花とみどりの相談所、維持管理係、企画調整係、整備改良係)	B モニター指標	情報誌の発行件数	件	(単年)	31	30	↓		B	情報誌の発行件数などがわずかに減少しましたが、広報とよなかやホームページなどを通じて、みどりに関するイベントや活動の情報発信ができていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	幅広い世代に情報発信するために、SNSなどを活用したみどりに関する広報を検討していく必要があります。
				ホームページによる情報発信件数	件	(単年)	60	62	↑				
				NPO法人などの環境保全活動団体数	人	(単年)	19	17	↓				
				C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題					
			公園みどり推進課(緑化自然環境係)	広報とよなかやホームページなどを通じて、みどりに関するイベントや活動の情報発信を行いました。	幅広い世代に情報発信するために、SNSなどを活用したみどりに関する広報を検討していく必要があります。								
45. 自然体験及び野外活動の場の活用													
A 施策内容	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	継続	公園みどり推進課(維持管理係、社会教育課)	B モニター指標	千里中央公園野外炊きさん場利用者数	人	(単年)	1,172	1,262	↑		B	台風等の影響があり、豊中市立青少年自然の家わっぱる利用者数などが減少しましたが、キャンプ体験などによる自然体験や野外活動を推進していることから、概ね施策を実施できていると評価します。	公園などの自然環境を活用し、幅広い世代が楽しみながら活動できる体験メニューを用意する必要があります。
				千里中央公園野外炊きさん場利用団体数	団体	(単年)	33	32	↓				
				豊中市立青少年自然の家わっぱる利用者数	人	(単年)	15,366	14,009	↓				
				C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題					
			公園みどり推進課(維持管理係)	千里中央公園の野外炊きさん場で竹炭焼き体験を実施しました。また、青少年自然の家わっぱるキャンプなどの野外活動体験を実施しました。	自然体験や野外活動の推進のため、さらにイベントを実施する必要があります。								
46. 緑化事業基金の活用													
A 施策内容	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
A 施策内容	拡充	公園みどり推進課(企画調整係、緑化自然環境係、花とみどりの相談所、維持管理係、整備改良係)	B モニター指標	緑化事業基金に対する寄附件数	件	(単年)	18	13	↓		B	寄附件数が減少しましたが、緑化団体の活動の支援などに基金を活用していることから、概ね施策を実施できていると評価します。	返礼品の拡充に伴い、寄附件数の増加が見込まれることから、今後、基金の活用と確保について、更なる情報発信とともに、計画的かつ効果的な運用の検討が必要です。
				緑化事業基金活用額	円	(累計)	135,000	2,930,000	↑				
			C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容		施策に対する課題						
公園みどり推進課(企画調整係)	みどりに関する活動団体との協働により進める取組みにおいて、草花の種子や緑化資材などの調達、及び、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区の整備費に活用しました。	これまでの運用益(利子)を緑化資材の購入などの活用と合わせて、平成30年度は春日町ヒメボタル特別緑地保全地区の整備費に活用しましたが、さらに効果的な情報発信をするなど、基金の確保と合わせて、計画的かつ効果的な運用の検討が必要です。											

施策の進捗・効果検証シート

緑化重点地区

<重点的な施策>

進捗評価

「Bモニター指標」、「C担当課による検証」及び地域別の取組み状況を踏まえて、具体施策全体で進捗状況を評価。
 A:すべての施策内容を実施することができる。
 B:概ね施策内容を実施することができるが、実施できていない施策がある。
 C:施策内容を実施することができるものもあるが、実施できていない施策も多い。
 D:施策内容のほとんどが実施できていない。

項目	みどりの拠点										進捗評価				
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					C 担当課 による検証	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
	・広域避難場所である野田中央公園、応援受入拠点である菟江公園の延焼遮断帯の形成やオープンスペースの確保など、拠点となる公園の防災機能の強化を図ります。 ・「保護樹等助成金交付制度」などにより、保護樹等や住吉神社(豊南町西)などの社寺林の保全を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 ・神崎川公園の再整備により、運動施設や植栽のみどりの充実を図ります。	継続	公園みどり推進課(維持管理係)		公園・緑地の防災施設設置箇所数(南部)	箇所	(累計)	29	29	—		B	指標の増減はありませんが、みどりの拠点となる公園・緑地について、除草などの適正な維持管理を行っていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	社寺林などの拠点となる樹木を保全するため、保護樹等助成金制度の内容の見直しなどを検討し、所有者の負担の軽減を図る必要があります。	
				保護樹指定件数(南部)	円	(累計)	20	20	—						
				保護樹指定本数(南部)	本	(累計)	46	46	—						
				保護樹林指定面積(南部)	m ²	(累計)	14,800	14,800	—						
					担当課			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
					公園みどり推進課(維持管理係)	公園・緑地の日常の除草や剪定などを適切に実施しました。			広域避難場所である野田中央公園、応援受入拠点である菟江公園の延焼遮断帯の形成を推進するとともに、防火施設の適正な維持管理が必要です。						
					公園みどり推進課(緑化自然係)	保護樹等の新規指定、指定解除ともに(0本)でした。また、指定されている保護樹等に対して、助成金の交付を行いました。			助成金が樹木保存の一助となつてはいるものの、樹木の維持管理、樹木保存に対する所有者の負担は大きいです。						

項目	みどりの軸										進捗評価				
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					C 担当課 による検証	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
	・旧猪名川のほとりのある草地、天竺川や高川の埋内地側の法面の樹林地や草地などを保全するとともに、神崎川の緑道や緑地帯では、景観や利活用に配慮した適正な維持管理を行います。 ・中央幹線景観水路や豊能南部親水水路の樹木などの適正な維持管理を行います。	継続	大阪府、公園みどり推進課(維持管理係)、基盤保全課		親水水路樹木本数(南部)	本	(累計)	263	263	—		B	指標の増減はありませんが、みどりの軸となる水路において、植栽管理や清掃を実施しており、適正な維持管理を行っていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	緑化重点地区のみどりの満足向上に向けて、多様な取組みが求められているみどりの軸において、地域住民と協働したみどりの保全を推進していくため、大阪府アドプト・リバープログラムなどの制度を積極的に広報していくことが必要です。	
				親水水路低木面積(南部)	m ²	(累計)	6,665	6,665	—						
				河川流域面積(南部)	ha	(累計)	54	54	—						
				大阪府アドプト・リバープログラム協定締結件数(南部)	件	(単年)	2	2	—						
					担当課			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
					公園みどり推進課(維持管理係)	中央幹線景観水路や豊能南部親水水路について、植栽帯等の清掃や植栽管理などを行いました。			河川や緑道及び道路など、軸となるみどりの創出と保全を促すために、「みどりの風促進区域」における事業の連携やエコロジカル・ネットワークの形成など、多様な取組みが求められます。						

項目	公園・緑地										進捗評価				
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					C 担当課 による検証	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
	・公園・緑地の樹木などの適正な維持管理を行います。 ・「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 ・延焼防止効果を高めるため、沿道のみどりの保全や育成を推進するとともに、防災施設の適正な維持管理を行います。	継続	公園みどり推進課(維持管理係)		公園・緑地の開設箇所数(南部)	箇所	(累計)	99	99	—		B	指標の増減はありませんが、公園・緑地の樹木などの適正な維持管理を行ったことにより、概ね施策を実施できていると評価します。	「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発に努める必要があります。	
				公園・緑地の開設面積(南部)	m ²	(累計)	151,333	151,333	—						
				自主管理協定制度登録団体数(南部)	団体	(累計)	62	62	—						
				自主管理協定制度活動箇所数(公園)(南部)	箇所	(累計)	56	56	—						
				豊中市アダプトシステム協定締結件数(南部)	件	(累計)	2	2	—						
				公園・緑地の防災施設設置箇所数(南部)	箇所	(累計)	29	29	—						
					担当課			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
					公園みどり推進課(維持管理係)	緑化重点地区における公園・緑地について、樹木の剪定や除草等の維持管理を行うとともに、沿道のみどりの保全や育成を推進するとともに、防災施設の適正な維持管理を行います。			「自主管理協定制度」などにより、地域住民による花壇管理などの緑化活動を推進するとともに、制度の普及啓発に努める必要があります。						

項目	街路樹・緑道										進捗評価				
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	B モニター 指標	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり 推進課による 検証	進捗 評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点
					C 担当課 による検証	平成30年度の実施内容			施策に対する課題						
	・「第3次区内地域住環境整備計画」に基づき、通り池水路などの緑道の整備を推進します。 ・都市計画道路の三国塚口線や穂積菟江線などの街路樹の整備を推進します。 ・神崎川根山線や穂積菟江線などの街路樹や緑道の樹木などの適正な維持管理を行うとともに、老木化した樹木の更新を行います。 ・花壇やフラワーポットなどにより、沿道の草花緑化を推進します。 ・延焼防止効果を高めるため、沿道のみどりの保全や育成を推進します。	拡充	公園みどり推進課(維持管理係)、整備改良係、緑化自然環境係、市街地整備課、基盤整備課		街路樹本数(市道)(南部)	本	(累計)	5,055	5,096	↑		B	緑道・街路樹整備件数がありませんでしたが、緑道の整備に向けて、地権者等と調整を図り、現在整備中の都市計画道路において街路樹等の整備をする予定であることから、概ね施策を実施できていると評価します。	引続き緑道の整備を推進していくとともに、街路樹などの樹木について、不適切な剪定や植栽が発生しないよう計画的に維持管理を行っていく必要があります。	
				街路樹本数(府道)(南部)	本	(累計)	—	20	—	平成29年度値不明					
				街路樹本数(国道)(南部)	本	(累計)	—	160	—	平成29年度値不明					
				街路樹低木面積(市道)(南部)	m ²	(累計)	15,263	15,263	—						
				緑道・街路樹整備件数(南部)	m ²	(累計)	0	0	—						
					担当課			平成30年度の実施内容			施策に対する課題				
					公園みどり推進課(維持管理係)	「第3次区内地域住環境整備計画」に基づく緑道の整備に向けて、権利者との調整を行いました。道路沿いなどの花壇、フラワーポットの適切な維持管理を行うとともに、市民との協働による花苗の育苗、花壇の管理活動を行いました。			緑道などの整備については、権利関係が複雑している場合が多く、調整に時間を要します。街路樹や緑道の樹木などを保全、育成をしていくためにも、不適切な剪定や不適切な植栽などが発生しないよう計画的に維持管理を行っていく必要があります。						

項目	学校														
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
												A			
A 施策内容	敷地内や沿道のみどりの保全や緑化の推進、校舎の壁面を利用した緑化を推進し、目にするみどりの量の増加を図るとともに、学校の再配置が行われる場合には、みどりの確保に努めます。	拡充	教育委員会、公園みどり推進課(緑化自然環境係)、施設整備課	B モニター指標	小・中学校及びこども園ビオトープ設置件数(南部)	件	(単年)	4	4	—	5年毎の調査(前回 平成27年度)	D 公園みどり推進課による検証	A	公立小学校みどりのカーテン実施箇所数が増加しており、教育施設に対して、ゴーヤによるみどりのカーテンづくりや緑化樹の配付等の緑化活動を実施していることから、施策を実施できていると評価します。	今後予定される、学校の再配置と連動した、みどりの確保や緑化の推進に努める必要があります。
					小・中学校及びこども園ビオトープ設置面積(南部)	m ²	(単年)	185	185	—	5年毎の調査(前回 平成27年度)				
					公立小学校農園実施校数(南部)	校	(単年)	8	8	—					
					公立小学校みどりのカーテン実施箇所数(南部)	箇所	(単年)	3	5	↑					
					公立小・中学校・こども園芝生化件数(南部)	件	(単年)	2	2	—					
					公立小・中学校・こども園芝生化面積(南部)	m ²	(単年)	2,000	2,000	—					
					C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題					
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	市民との協働により、公立小学校や公共施設等へ、ゴーヤによるみどりのカーテンづくりの指導を行いました。			継続して公立小学校等への緑化の推進を図るため、みどりのカーテンづくりの指導方法の見直しについての検討が必要です。											
項目	駅前														
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
												B			
A 施策内容	市民参加や市民との協働によるプランターなどを活用した草花緑化により、魅力的な駅前づくりを推進するとともに、駅前の再開発が行われる場合には、みどりの確保に努めます。	拡充	公園みどり推進課(緑化自然環境係)、市街地整備課	B モニター指標	まちづくり団体の取組み箇所数(南部)	箇所	(累計)	0	0	—		D 公園みどり推進課による検証	B	指標の増減はほとんどありませんが、道路沿いなどの花壇、フラワーボットの適正な維持管理を行なっていることから、概ね施策を実施できていると評価します。	駅前の緑化においては、草花を整備スペースの確保が困難であるなど、課題がありますが、市民や事業者と連携し、駅前の再開発が行われる場合には、みどりの確保をしていくことが必要です。
					まちづくり団体のみどりの活動プロジェクト件数(南部)	件	(累計)	0	0	—					
					花壇設置面積(南部)	m ²	(累計)	457	457	—					
					フラワーボット設置数(南部)	箇所	(累計)	584	585	↑					
					C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題					
花とみどりの相談所	道路沿いなどの花壇、フラワーボットの適切な維持管理を行うとともに、市民との協働による花苗の育苗、地域花壇の管理活動により、景観形成の向上に努めました。			駅周辺の緑化を推進するため、スペースの確保など、関係部局と連携した対策が必要です。											
項目	住宅地・商業地・工業地など														
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
												C			
A 施策内容	税制優遇などを活用して、300m ² 以上の敷地において、20%以上の緑化施設が整備された住民の利用に供する市民緑地を設置し、これを管理する者が作成する計画を認定する「市民緑地認定制度」の適用を推進します。 ・「生垣緑化助成金交付制度」の制度の拡充や地区の特性に応じた助成の基準を検討し、沿道緑化を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 ・「環境配慮奨励金交付制度」などにより、準工業又は工業地域における事業所の新設や増設、建替えなどの際の積極的な緑化を推進します。 ・沿道緑化の手法や鉢植えで育てる植物などに関する情報の発信、出前による花とみどりの講習会、みどりに関するイベントの積極的な開催などにより、みどりの保全や緑化を推進します。 ・自治会やマンションの管理組合などに対して、緑化用樹木を配付する「緑化樹等配付制度」により緑化を推進するとともに、制度の普及啓発に努めます。 ・宅地化などの開発行為に伴う「豊中市環境配慮指針」に基づく緑化協議により、緑化を推進します。 ・「(仮称)南部コラボセンター」の建設の際には、可能な範囲で花壇などの植栽空間を確保し、その空間の緑化を推進します。 ・延焼防止効果の高い樹種や植栽方法の助言など、防災効果を高めるみどりの普及啓発に努めます。	拡充	公園みどり推進課(緑化自然環境係)、産業振興課、環境政策課、施設整備課	B モニター指標	市民緑地認定件数(南部)	件	(単年)	0	0	—		D 公園みどり推進課による検証	C	緑化樹配付件数は増加しておりますが、多くの指標について取組み見られないことにより、施策の一部しか実施できていないと評価します。	緑化重点地区の住宅地・商業地・工業地に対して、緑化を推進していくために、「緑化樹等配付制度」等の制度について十分な理解を得るため、積極的に制度の趣旨等を情報発信するとともに、地域の緑化に関する意識の向上のために、みどりに関するイベントを積極的に行っていくことが必要です。
					生垣緑化助成件数(南部)	件	(単年)	0	0	—					
					生垣緑化助成本数(南部)	本	(単年)	0	0	—					
					生垣緑化助成延長(南部)	m	(単年)	0	0	—					
					環境配慮奨励金交付件数(南部)	件	(累計)	0	0	—					
					みどりに関するイベント参加者数(南部)	人	(累計)	0	0	—					
					緑化樹配付件数(南部)	件	(単年)	4	8	↑					
					緑化樹配付本数(南部)	本	(単年)	153	375	↑					
					環境配慮協議件数(南部)	件	(単年)	10	11	↑					
					環境配慮協議緑化面積(南部)	m ²	(単年)	4,264	2,954	↓					
					C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題					
公園みどり推進課(緑化自然環境係)	自治会やマンションの管理組合などに対して、大阪府との連携による緑化樹木の配付を行いました。			緑化重点地区のみどりの保全や緑化に関する支援制度の活用を推進するため、積極的な普及啓発が必要です。											
項目	みどりの風促進区域														
A 施策内容	施策概要	実施状況	担当課	指標	単位	区分	平成29年度	平成30年度	増減	指標に対する補足・留意事項	D 公園みどり推進課による検証	進捗評価	実施内容の評価	今後の留意すべき点・改善点	
												D			
A 施策内容	大阪府との連携により、「みどりの風促進区域」の情報を発信し、区域内の緑化を推進します。	継続	大阪府、環境政策課、公園みどり推進課(緑化自然環境係)	B モニター指標	みどりの風の道形成事業補助件数(南部)	件	(累計)	0	0	—	D 公園みどり推進課による検証	D	みどりの風の道形成事業補助申請がなかったことにより、施策が実施できていないと評価します。	「みどりの風促進区域」に指定されている国道176号の沿線において、緑化を推進するため、開発行為や建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。	
					C 担当課による検証	担当課	平成30年度の実施内容			施策に対する課題					
				環境政策課	南部地域における、みどりの風の道形成事業補助は、ありませんでした。			促進区域における民有地の緑化整備を促進するため、民間事業者が行う開発行為・建築行為に対する環境配慮協議を行う際、大阪府への情報提供や事業者への働きかけが必要です。							